



学校だより 12月

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和2年 11 月 30 日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目 16 番 1

TEL 045(841)6561

修学旅行や遠足の実施に思う

校長 岡崎 陽子

上永谷駅周辺のイチョウ並木が一斉に葉を落とし始めました。いよいよ冬が近づいていることを感じます。11月は6年生の日光修学旅行、1年生の舞岡公園遠足、2年生のよこはま動物園ズーラシア遠足、3年生の横浜・八景島シーパラダイス遠足を実施しました。

修学旅行や遠足は、学習指導要領の特別活動「遠足（旅行）・集団宿泊的行事」に位置付けられています。子どもたちにとっても大切な思い出となる教育的体験活動です。その内容は「自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについて体験を積むことができるようにすること」となっています。

また、横浜市教育委員会のガイドラインでは、「『遠足（旅行）・集団宿泊的行事』については、延期、または中止、目的地の変更や内容の精選による縮小等、あらゆる状況を想定した実施方法の検討」をするように示されています。

しかし、現在の新型コロナウイルスの感染状況を考えると、リスクを背負ってまで修学旅行や遠足を実施することに不安な気持ちを抱かれている方もいらっしゃると思います。その不安を少しでも解消できるよう、本校では、新型コロナウイルスの発生状況、国や横浜市教育委員会の動向を見守りながら、様々な感染症対策を講じて、修学旅行や遠足を実施しました。

具体的には、バスを増便したり、宿泊先を感染症対策に力を入れている旅館に変更したりしました。遠足での手洗い用にハンドソープを持参したり、お弁当は会話せずに食べるようにしたりもしました。

先日の6年生の日光修学旅行を引率して感じたことは、現地に行ったからこそ感じたことや考えたことがたくさんあり、その経験はとても有意義であるということです。

東照宮の周辺は紅葉がちょうど見ごろで、自然と建造物が一体となった風景は、映像では感じられない清々しさを感じました。子どもたちは、江戸時代の人々の技術や思いに感動していました。

粉雪の舞うひんやりした2日目の朝、子どもたちは、源泉まで向かう散歩道で、数匹のサルが木々を渡り歩いている姿を見つけて、大喜びでした。自然の中で自分が動物を発見しただけで心が温かくなるのを感じました。日光で子どもたちは、実感を伴った体験をたくさん積んで、横浜に帰ってきました。

一向に新型コロナウイルスが収束する気配を見せない中、誰もが不安を感じています。しかし、私たち教職員一同は、このような状況下でも、今できることに前向きに取り組み、「学びを止めない」努力をしたいと考えています。情報を収集し、状況を見極め、決して無理することなく、安全・安心を第一に教育活動を計画し、実行していきたいと思えます。

様々な場面で我慢を強いられた2020年も残すところあと1か月です。来年が今年より少しでも穏やかで健やかな年になることを心より願っています。